袴野で学んだことを 誇りとして生きてほしい

中学校は、平成24年度をもって、そ 方々の笑顔があふれていました。 は子どもたちの真剣な活動と地域の ことがよく理解できました。そこに 域が一体となった歩みを重ねてきた を映像で振り返ったとき、学校と地 の歴史の幕を閉じることになります。 豊かな人間性を育てるには、豊か 運動会や文化祭など、過去の活動 素晴らしい歴史と伝統ある袴野小

間的なふれあいに満ち溢れています。 を実感できる多くの機会があり、人 とふれあう場や学ぶことや働くこと 卒業生を輩出することにつながった それがよき伝統を生み、素晴らしい な体験が必要です。袴野には、自然

じています。 を力強く踏み出してくれるものと信 んだことを誇りとして、新しい歩み これから子どもたちは、袴野で学

ご尽力をいただいた関係者の皆様

発展をお祈りいたします。 には謹んでお礼申し上げ、本校区の



第36代袴野小中学校校長 さとう こうすけ 佐藤 浩介 先生

見守ってほしい これからも子どもたちを

童・生徒数が減少する中、PTAを 行ってきましたが、最後は、子ども 中心に学校存続に向けた取り組みを ろすことは、大変残念でなりません。 たちの将来を考えての判断となりま 思い出多き学校も、年ごとに児 袴野小中学校97年の歴史に幕を下

き感謝申し上げます。 くさんの卒業生からご協力をいただ 各部会の実行委員が協力し合い、た 閉校事業では、記念誌、記念碑の 皆様にはこれからも、子どもたち

見守っていただきたいと思います。 がそれぞれの学校で「なかよく」「か しこく」「たくましく」をモットーに、 日も早く新しい生活に慣れるよう 本校の教育に携わっていただいた

=

深き谷間の

移りて峯を

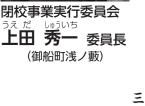
ますので、これからもご支援をよろ この地域の発展につなげたいと思い になりました。閉校はしますが、体 関係機関の皆様、大変長い間お世話 しくお願いします。 育館、グラウンドを活用しながら、

希望の道を



袴野小中学校校歌

朝日に映ゆる 建つや袴野 永遠の煙を 有明の海



理想を追いて

文化慕いつ

